

会 議 録

会 議 の 名 称	第19回 なぐわし公園連絡会議
開 催 日 時	令和6年2月2日(金) 午前10時00分 開会 ・ 午前11時30分 閉会
開 催 場 所	本庁舎7階 第5委員会室
議長(委員長・会長) 氏名	議長 小瀬 博之 (東洋大学 教授)
出席者(委員) 氏名(人数)	神田賢志、倉嶋真史、桑真美子、田畑たき子、 小高浩行、柿田有一、片野広隆、中原秀文、小 野澤康弘、本間幸治、山田誠次、宮崎馳弓、本 木春男、腰越実枝(計15名)
欠席者(委員) 氏名(人数)	吉田文雄、臼井裕、牛久保努、中村直樹(計4名)
事務局職員 職 氏 名	前島都市計画部参事兼公園整備課長、佐枝副課長、関根副主幹、 岩下主査、七海主査、田口技師
会 議 次 第	議 題 (1) 議長、副議長の選出について (2) 温水利用型健康運動施設 令和4年度運営状況 (3) 温水利用型健康運動施設等整備運営事業 事後評価(案) (4) なぐわし公園整備における民活導入について
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 川越市なぐわし公園連絡会議要綱 ・ 川越市なぐわし公園連絡会議名簿 ・ 資料1 温水利用型健康運動施設 令和4年度運営状況 ・ 資料2 温水利用型健康運動施設等整備運営事業 事後評価(案) ・ 資料3 なぐわし公園整備における民活導入について ・ 参考資料

要旨・経緯

[要旨]

本会議は、学識経験者、市議会議員、関係団体、地元自治会、公募委員などから構成される委員で組織されている。本会議では資源化センターから発生する余熱を利用した温水利用型健康運動施設の整備・維持管理・運営について様々な意見を伺い、公園整備等の計画に資するものである。

[経緯]

(1) 議長、副議長の選出について

委員の互選により、議長、副議長を選出した。

(2) 温水利用型健康運動施設 令和4年度運営状況について

なぐわし公園 PiKOA の運営状況を報告し、運営に関する意見を聴取した。

(3) 温水利用型健康運動施設等整備運営事業 事後評価（案）について

なぐわし公園温水利用型健康運動施設等整備運営事業 事後評価報告書（案）の概要を報告し、内容に関する意見を聴取した。

(4) なぐわし公園整備における民活導入について

なぐわし公園の今後の整備の考え方を説明し、意見を聴取した。

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>(1) 議長、副議長の選出について</p> <p>委員の互選により、議長、副議長を選出</p> <p>(2) 温水利用型健康運動施設 令和4年度運営状況について</p>
事務局	(資料に基づき事務局から説明)
委 員	令和4年度は、施設利用中の死亡事故などはあったのか。
事務局	令和4年度は、死亡事故はなかったが、令和3年度と令和5年度に死亡事故が各1件あった。いずれも、持病のある高齢者の方が温浴施設の利用時に意識を喪失され、病院に搬送後に亡くなられたものである。
委 員	指定管理者事業の収支について、コロナ後に利用料金収入が減少しているが、事業者の工夫により支出を縮減して収益を確保しているとの説明があった。どのような工夫をしたのか。
事務局	従来、ピコアの運営スタッフは、フロントやトレーニング室など、箇所ごとに配置されていたが、クロスシフトとって専門以外の複数の持場を担当できるスタッフを養成することで、人件費の縮減に繋げることができたと聞いている。
委 員	ピコアは市の直営ではないので、運営情報の把握が難しいのではないかと思うが、モニタリングの頻度はどのくらいか。特に随時モニタリングが必要なケースは、近年どのくらいあったか。
事務局	モニタリングについては、毎月1回、市と事業者で定例会を開催し、事業者から様々な運営上の課題等の報告を受けるとともに、対応策等について市と事業者で検討を行っている。随時モニタリングについては、苦情が市に届いた時などに、事業者に状況を確認するなどしており、月2~3回程度の頻度になる。
委 員	以前、水質の問題が出たときなどは、ピンポイントでモニタリングをしていたと思うが、今年度も一定程度の随時モニタリング

	を実施していたと理解してよいか。
事務局	温浴施設の水質については、引き続き、毎週1回、事業者からデータを提供してもらい、市及び事業者相互で水質に問題がないかを確認している。
委員	随時モニタリングについては、委員としても状況を確認したいと思うので、情報提供をお願いしたい。
委員	温浴施設については、以前レジオネラ属菌が検出されたことを契機に、対応の見直しを行い、それ以降はそのようなことは起こっていないと聞いている。最近、水質は良くなっているのか。
事務局	平成29年にレジオネラ属菌が検出されて以降、管理マニュアルを改定し、温浴水の溢水回数や検査頻度を増やすなど対応しているが、水質については、平成29年度にデータを取り始めてから大きな変化はなく、安定して推移している。
委員	令和5年度の10月の利用者数が令和4年度に比べて落ち込んでいるが、原因は何か。
事務局	原因については、把握できていない。 [※令和5年10月は、ろ過装置の補修のためプール利用を休止していたためと想定される。]
委員	令和3年度と令和4年度にサービス購入料が増えている理由は何か。
事務局	令和3年度は物価変動に伴い維持管理業務に係るサービス購入料が増額となった。また、令和4年度は、電気料金の値上がりがあり光熱水費に係るサービス購入料が増額となった。
委員	個人利用者に占める川越市民の割合と周辺市町を含めた利用者の割合はどのくらいか。
事務局	おおよその割合になるが、川越市民の割合は70%、周辺市町を含めた割合は97%である。
委員長	利用者数は減ってはいるが、当初想定の間年22万5千人は超

	<p>えている。温浴施設も一日200人程度利用されている。このくらいが適正な水準なのではないかと思うので、減らさないよう努力していただきたい。</p> <p>(3) 温水利用型健康運動施設等整備運営事業 事後評価 (案) について</p>
事務局	(資料に基づき事務局から説明)
委員	飲食の提供業務が近年、赤字の状況とのことだが、何か工夫はしているのか。
事務局	公園利用者にも食堂を利用していただくよう、公園側のピコアの入り口に案内を掲示している。
委員	食堂はスペースも広く、現状の利用状況では勿体ない。食材の工夫など魅力向上に努めて欲しい。改善の余地はあるのではないか。また、食堂を良くすることで PiKOA の利用者も増えると思う。
委員長	食堂は外からは見えにくく、PiKOA の付属施設という印象がある。設計上の改善点ということかもしれない。
委員	内部留保資金を用いた借入金の繰り上げ返済は、修繕積立金を使用したという理解でよいか。
事務局	繰り上げ返済には、リスク対応のため会社内に留保している内部留保資金を使用した。繰り上げ返済に修繕積立金を流用したということではない。
委員	今期の事業契約のなかで、施設の機能回復を図る修繕を実施するというものでよいか。
事務局	事業者から提案があった修繕は実施する予定である。また、施設の性能機能を保ったなかで次期事業者に引き継ぎしてもらうことになるので、必要な修繕については実施する。
委員	必要な修繕については、修繕積立金を活用して、しっかり実施していただきたい。

委員	<p>全体的に混んでいる印象なので、これ以上宣伝はしないほうがよいのではないかと。</p>
事務局	<p>市としては、皆さんに気軽に使っていただける施設にしたいと考えているので、使いやすい施設となる仕組みも考えたい。</p>
委員	<p>修繕計画とこれまでの実績の累積との差額を明らかにすることが重要である。また、令和3~4年度の計画が後ろ倒しになることを踏まえ、今後、修繕計画を見直す予定はあるか。</p>
事務局	<p>現事業者から提案のあった修繕は実施していただく、また、施設の性能機能を保ったなかで次期事業者を引き継ぎしてもらうことになるので、残り3箇年の修繕計画については現事業者と協議する予定である。</p>
委員	<p>民活については、VFMが問われることになるが、修繕の実施状況が変わるとVFMも変化する。その意味でも修繕計画の見直しはしっかり行ってもらいたい。</p>
委員長	<p>2回の修繕を1回で行えばコストが縮減されると思うが、近年、建設コストが上昇していることもあるので、最終のVFMはどうか気になるところである。</p>
委員	<p>1便あたりの送迎バスの利用人数は何人くらいか。</p>
事務局	<p>送迎バスの定員は20名になるが、ピークには満員になることもある。逆に夜間などは1~2名ということもある。</p>
	<p>(4) なぐわし公園整備における民活導入について</p>
事務局	<p>(資料に基づき事務局から説明)</p>
委員	<p>サウンディング型市場調査を実施したと思うが、どのくらいの規模の調査だったのか。</p>
事務局	<p>10社程度の参加があった。現在、結果のとりまとめを行っている。</p>

委員長	なぐわし公園事業については、まだ、土地を買い戻していない状況だと思う。令和8年度までには買い戻しを完了するという予定か。
事務局	予算の状況はあるが、令和8年度の事業者交代のタイミングを捉え、令和9年度からはなぐわし公園全体を整備していく予定で準備している
委員	今後、事業方式の検討を進めるとのことだが、先行している自治体の視察などはしているのか。
事務局	直近では、志木市で Park-PFI で実施した例があるので、公園整備課の職員で視察する予定である。
委員	PiKOA 内に新たな運動施設を整備することもあり得るのか。
事務局	例えば、利用者の少ない飲食のスペースに、民間事業者の意見を聞いて、新たな運動施設を設置するなどの検討も必要になると考えている。また、Park-PFI で収益施設を設置し周辺の整備を併せて行ってもらうなどの可能性もあると考えている。
委員	施設外に収益施設を整備することもあり得るのか。
事務局	その通り。
委員長	公園にカフェを設置するなど、人を呼び込む施設を誘致するとかも考えられる。
事務局	なぐわし公園は街なかの公園と違い、収益面で特別なポテンシャルがあるということではないが、サウンディングで民間事業者の意見を聴取しながら、収益施設の導入についても検討している。
委員	運営事業者が交代となった場合、スムーズな引継ぎは可能か。
事務局	現事業契約では事業者の交代は円滑に行うことを規定している。引継ぎはしっかり行っていきたい。
委員長	魅力ある施設にしていくという意味では、次期事業では公園整備が伴うので期待が持てる。次期事業期間は決まっているのか。

事務局	事業期間は未定である。
委員	本事業の目的には、市民の健康増進や地域交流がある。次期事業者募集の仕様書の作成に当たっては、運動を所管する部局の意見も聴取し、施設面だけではなく市民の健康、体力づくりに資するソフト面についても工夫してもらいたい。
委員	本施設は余熱利用施設なので、今後、環境部局との調整が必要になると思うが協議はしているのか。
事務局	環境施設課からは、大規模改修の考え方などの情報提供を受けている。なぐわし公園の次期事業にあたっては、環境部と協議を行いながら進めていきたい。
委員	環境部でも施設整備にあたっては、民活を検討していると聞いている。民活という面からも環境部と情報共有をしてもらおうとよいと思う。
	閉 会
	以 上